

令和 8 年度学校自己評価及び学校関係者評価表

学校名：武蔵村山市立第一小学校 校長名：押本 純樹

【経営理念】「児童自らが学びに向かいながら、共に生きることに喜びを感じ、誰一人取り残さない学校を創造する」を実現させるために次の3点を柱とし、推進する。

(1) 児童の自ら学びに向かう力を育てる学校（自立） (3) 児童の思いや願いが実現できる学校（創造）

(2) 児童の健やかな成長のために、共感し、協働する学校（共生）

評価	
A	十分に達成している。(80%以上)
B	概ね達成している。(60%以上)
C	あまり十分でない。(40%以上)

【学校運営協議会・会長】 高橋 勉

学校運営協議会（学校評価分）

第1回 令和8年 7月 2日（木）

第2回 令和8年 8月 28日（金）

第3回 令和9年 2月 18日（木）

項目	計画・取組			自己評価（令和8年2月27日現在）				学校関係者評価	
	重点目標	具体的取組	評価指標・目標値	到達度（%）	評価	分析コメント	今後の改善方策	意見	評価
確かな学力の向上	学習内容の確実な定着と充実を全児童に対して図る。 【学校経営方針3の(7)】	誰一人取り残さないで、全員を学びに立ち向かわせる。	・自分から進んで授業に取り組んでいる児童が80% ・自分の子は、自分から進んで授業に取り組んでいると感じている保護者が80%						
		ねらいを明確にし、分かりやすい授業をする。朝学習や家庭学習等を通して、読み・書き・計算の反復練習に取り組む。	【全校共通】 市学力調査にて、（小5・中2）の平均正答率が同一学習集団の前年度値（小4・中1時）を上回っている。						
豊かな心の育成	持続可能な社会づくりに向けた意欲と行動を育成する。 【学校経営方針3の(1)(2)】	遊びを通して、みんなと関わる楽しさを知り、時にはあるけんかも一つの大事な経験として、相手を思う気持ちを養う。	・休み時間に校庭でみんなと仲良く遊んでいる児童が80% ・自分の子が休み時間にみんなと仲良く遊んでいると感じている保護者が80%						
		音楽集会の活動を通して、みんなと歌う楽しさを知り、互いの声を響かせ、豊かな情操を養う。	・音楽集会や音楽、学級活動などでみんなと楽しく歌っている児童が85% ・自分の子が音楽集会や音楽、学級活動などでみんなと楽しく歌っていると感じている保護者が85%						
健やかな体の育成	基本的な生活習慣の確立し、心身共に健康な体をつくる。 【学校経営方針3の(5)】	「早寝・早起き・朝ごはん・歯磨き」の推進をし、健康な体づくりを目指す。	・自らを振り返り、改善を図るために健康的な生活習慣を送れた児童が80% ・自分の子が継続して健康的な生活習慣を身に付けようとしていると感じている保護者が80%						
		運動やスポーツへの興味・関心を広め、体力を高める活動の充実を図る。	【全校共通】 全国体力・運動能力、運動習慣等調査（小5・中2）において総合評価「C」以上の割合が60%以上又は総合評価「C」以上の割合が令和6年度調査との比較で向上している。						
学習の充実	様々な人たちと関わり合いながら、自ら行動する力を養う。 【学校経営方針3の(3)】	各学年で生活科や総合的な学習の時間を通して、まちづくり学習（ゼロカーボンチャレンジ校の活動含む）の取り組み、その成果を発信する。	【全校共通】 学校評価アンケートの「学校は『まちづくり学習』を通して、自ら課題を設定して解決への見通しを考えたり、考えたことを発表したりする学習を推進している。」の項目について、肯定的な回答が、70%以上						
信頼される学校づくり	日常の学校生活の中で規範意識を高めながら、より良い生活環境や人間関係を構築する。 【学校経営方針3の(4)】	5つの生活習慣（校帽、挨拶、靴のかかとを踏まない・揃える、イスを引く、水道の蛇口は下にする）にこだわり、年間を通して定着を図る。	・5つの生活習慣が身に付いている児童が90%。 ・自分の子に5つの生活習慣が身に付いていると感じている保護者が80%。						
		誰一人取り残さない学校を創る。 【学校経営方針3の(6)(8)】	児童に対して、受容的な接し方を教員が身に付け、児童の言葉に耳を傾け、褒める・叱るのメリハリのある指導を行う。	・教員が児童の相談にのり、メリハリのある指導をしていると感じている児童が、95% ・教員が児童の相談にのり、メリハリのある指導をしていると感じている保護者が、85%					

※ 到達度 = 達成値 / 目標値